



R8.3.26 第6回大甕・太田地区学校適正化検討協議会  
(南相馬市教育委員会事務局教育総務課)

資料 4

# 令和7年度大甕・太田地区の 教育環境に関する意識調査

## 【 結 果 】 検討協議会用

南相馬市教育委員会

令和8年3月26日時点



# 目次

## 1 調査の概要

- 1.1 調査の目的 P 3
- 1.2 調査の対象者 P 3
- 1.3 調査期間 P 4
- 1.4 調査方法 P 4
- 1.5 回収結果 P 5
- 1.6 調査項目 P 7

## 2 調査結果（目指すこども像など）

- 2.1 義務教育9年間で育ってほしいこども像について P 8
- 2.2 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について P 1 4
- 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について P 2 0
- 2.4 現在の学校生活における良い点や、満足している点について P 2 8
- 2.5 学校に期待したい点について P 3 2
- 2.6 保護者意識調査（目指すこども像など）の総括について P 3 5

## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

- 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について P 3 6
- 3.2 児童生徒の声について P 4 5
- 3.3 保護懇談会不参加の理由について P 4 8
- 3.4 意見表明しやすい方法について P 5 0
- 3.5 小中一貫教育の導入となった場合に希望することについて P 5 2
- 3.6 学校適正化の進め方について P 5 5
- 3.7 大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力について P 5 7
- 3.8 大甕・太田地区の学校適正化について P 6 0



# 1 調査の概要

## 1.1 調査の目的、1.2 調査の対象者

### 調査の目的

本調査は、大甕小学校、太田小学校、原町第三中学校に在籍する児童生徒の保護者及び大甕・太田地区の未就学児保護者に対して「目指すこどもの姿」、「現在の教育環境」及び「大甕・太田地区学校適正化の市の方針」などに関する考えを調査し、大甕・太田地区学校適正化の方向性検討の参考とすることを目的に実施した。

### 調査の対象者

| No. | 区分      | 調査対象者                                | 対象世帯  |
|-----|---------|--------------------------------------|-------|
| 1   | 在籍児童保護者 | 大甕小学校に在籍する<br>小学1年生から小学6年生の保護者（世帯）   | 5 9   |
| 2   | 在籍児童保護者 | 太田小学校に在籍する<br>小学1年生から小学6年生の保護者（世帯）   | 1 9   |
| 3   | 在籍生徒保護者 | 原町第三中学校に在籍する<br>中学1年生から中学3年生の保護者（世帯） | 5 7   |
| 4   | 未就学児保護者 | 大甕地区に居住する未就学児（6歳以下）の保護者(世帯)          | 3 4   |
| 5   | 未就学児保護者 | 太田地区に居住する未就学児（6歳以下）の保護者(世帯)          | 3 5   |
| 合 計 |         |                                      | 2 0 4 |

※No.1～No.5複数の区分に該当する保護者については、最も年上の子どもを基準とする区分で集計。



# 1 調査の概要

## 1.3 調査期間、1.4 調査方法

### 調査期間

令和8年2月20日から令和8年3月15日

### 調査方法

| No. | 区分          | 調査対象者                                | 調査方法               |
|-----|-------------|--------------------------------------|--------------------|
| 1   | 在籍児童<br>保護者 | 大甕小学校に在籍する<br>小学1年生から小学6年生の保護者（世帯）   | 郵送で調査票配布<br>WEBで回答 |
| 2   | 在籍児童<br>保護者 | 太田小学校に在籍する<br>小学1年生から小学6年生の保護者（世帯）   | 郵送で調査票配布<br>WEBで回答 |
| 3   | 在籍生徒<br>保護者 | 原町第三中学校に在籍する<br>中学1年生から中学3年生の保護者（世帯） | 郵送で調査票配布<br>WEBで回答 |
| 4   | 未就学児<br>保護者 | 大甕地区に居住する未就学児（6歳以下）の保護者<br>（世帯）      | 郵送で調査票配布<br>WEBで回答 |
| 5   | 未就学児<br>保護者 | 太田地区に居住する未就学児（6歳以下）の保護者<br>（世帯）      | 郵送で調査票配布<br>WEBで回答 |



# 1 調査の概要

## 1.5 回収結果

### 回収結果

| No. | 区分          | 調査対象者                                | 対象<br>世帯 | 有効<br>回答世帯 | 有効<br>回収率 |
|-----|-------------|--------------------------------------|----------|------------|-----------|
| 1   | 在籍児童<br>保護者 | 大甕小学校に在籍する<br>小学1年生から小学6年生の保護者（世帯）   | 59       | 19         | 32.2      |
| 2   | 在籍児童<br>保護者 | 太田小学校に在籍する<br>小学1年生から小学6年生の保護者（世帯）   | 19       | 13         | 68.4      |
| 3   | 在籍生徒<br>保護者 | 原町第三中学校に在籍する<br>中学1年生から中学3年生の保護者（世帯） | 57       | 16         | 28.1      |
| 4   | 未就学児<br>保護者 | 大甕地区に居住する未就学児（6歳以下）の保護者<br>（世帯）      | 34       | 17         | 50.0      |
| 5   | 未就学児<br>保護者 | 太田地区に居住する未就学児（6歳以下）の保護者<br>（世帯）      | 35       | 11         | 31.4      |
| 6   | 未就学児<br>保護者 | 居住地不明な未就学児（6歳以下）の保護者（世帯）             |          | 1          |           |
| 合 計 |             |                                      | 204      | 77         | 37.7      |

※有効回答世帯…調査で得られた回答のうち、誤りや欠陥がない有効な回答の世帯数。  
 具体的には、重複して回答していると思わせる世帯や、賛成なのか反対なのか判断できない世帯を除く。

※有効回収率 …調査で得られた回答のうち、誤りや欠落がない有効な回答の割合。



# 1 調査の概要

## 1.5 回収結果

### ◎ こどもの学年

| 学 年   | 児童生徒数 | 学 年   | 児童生徒数 |
|-------|-------|-------|-------|
| 小学1年生 | 8     | 中学1年生 | 5     |
| 小学2年生 | 12    | 中学2年生 | 9     |
| 小学3年生 | 9     | 中学3年生 | 3     |
| 小学4年生 | 12    | 未就学児  | 40    |
| 小学5年生 | 7     | 未回答   | 0     |
| 小学6年生 | 10    | 合 計   | 115   |

※回答があった204世帯中、児童生徒数（未就学児含む）は115人。  
また、回答があった世帯のうち1世帯は児童・生徒の保護者であるが、未回答のため、「在籍児童保護者」としてカウントしている



# 1 調査の概要

## 1.6 調査項目

| 区分  | 項 目                              |
|-----|----------------------------------|
| 属 性 | こどもの学校、学年                        |
|     | 居住地                              |
| 内 容 | 義務教育9年間で育ってほしいこども像について           |
|     | 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について |
|     | 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について |
|     | 現在の学校生活について、良い点や満足している点について      |
|     | 学校に期待したい点について                    |
|     | 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について          |
|     | 児童生徒の声について                       |
|     | 保護懇談会不参加の理由について                  |
|     | 意見表明しやすい方法について                   |
|     | 小中一貫教育の導入となった場合に希望することについて       |
|     | 学校適正化の進め方について                    |
|     | 大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力について           |
|     | 大甕・太田地区の学校適正化について                |



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.1 義務教育9年間で育ってほしいこども像について （全体・回答者ベース）

回答者数  
保護者全体 76件





## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.1 義務教育9年間で育ってほしいこども像について （全体・回答者ベース）

#### 義務教育9年間で育ってほしいと望むこども像について（3つまで選択可）

##### 【回答件数上位】

1. 「7. 【徳】 思いやりのある子（優しい子）」：50.0%
2. 「3. 【知】 自分で新しい道を切り拓くことのできる子（困難に直面しても諦めず、解決策を見つけられる）」：40.8%
3. 「4. 【知】 自分の意見や考えをはっきりと示すことができる子」：36.8%

##### 【調査結果から読み取れる傾向】

- 保護者が望む子どもの姿として、「思いやりのある子」が、回答の半数を占めた。
- 次に「新しい道を切り拓く子」（問題解決力）や「自分の意見を示す子」（主体性）が続いた。
- 上位3項目から保護者の多くは、「他者を思いやる温かい心」という人間性の基礎の上に、社会で自立して生きぬくための「主体的な思考力と実践的な行動力」を兼ね備えた、バランスの取れたこどもに育ってほしいと願っている傾向が見られる。

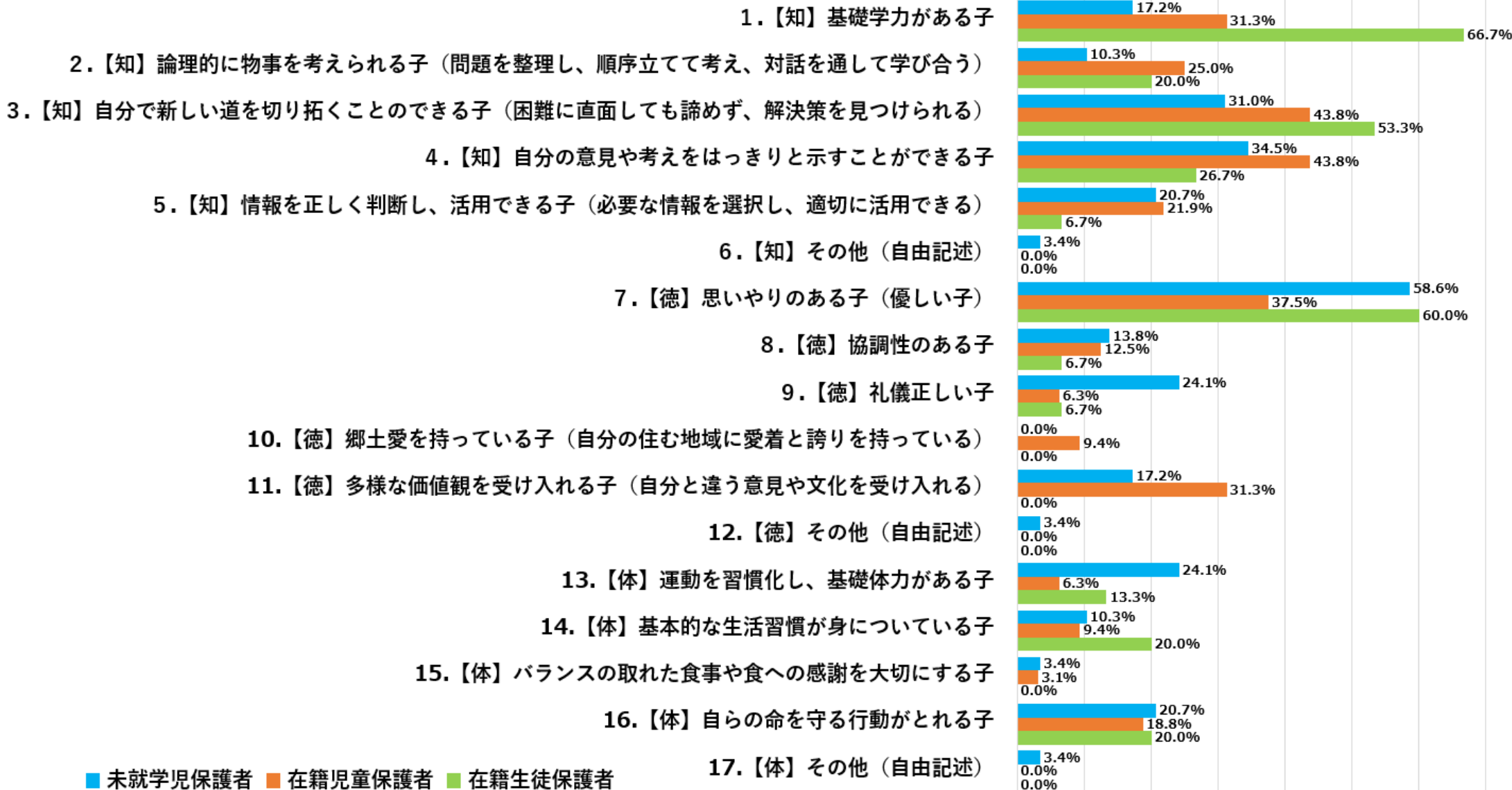
回答者数  
保護者全体 76件  
※在籍生徒保護者 1件未回答



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.1 義務教育9年間で育ってほしいこども像について （保護者区分ごと：回答者ベース）

| 回答者数    |     |
|---------|-----|
| 未就学児保護者 | 29件 |
| 在籍児童保護者 | 32件 |
| 在籍生徒保護者 | 15件 |





## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.1 義務教育9年間で育ってほしいこども像について （保護者区分ごと：回答者ベース）

|    | 未就学児保護者（29件）                                                    | 在籍児童保護者（32件）                                                                                    | 在籍生徒保護者（15件）                                                    |
|----|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 1位 | 7.【徳】思いやりのある子（優しい子）<br>（58.6%）                                  | 3.【知】自分で新しい道を切り拓くことのできる子<br>（困難に直面しても諦めず、解決策を見つけられる）<br>4.【知】自分の意見や考えをはっきりと示すことができる子<br>（43.8%） | 1.【知】基礎学力がある子<br>（66.7%）                                        |
| 2位 | 4.【知】自分の意見や考えをはっきりと示すことができる子<br>（34.5%）                         | 7.【徳】思いやりのある子（優しい子）<br>（37.5%）                                                                  | 7.【徳】思いやりのある子（優しい子）<br>（60.0%）                                  |
| 3位 | 3.【知】自分で新しい道を切り拓くことのできる子<br>（困難に直面しても諦めず、解決策を見つけられる）<br>（31.0%） | 1.【知】基礎学力がある子<br>11.【徳】多様な価値観を受け入れる子<br>（自分と違う意見や文化を受け入れる）<br>（31.3%）                           | 3.【知】自分で新しい道を切り拓くことのできる子<br>（困難に直面しても諦めず、解決策を見つけられる）<br>（53.3%） |



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.1 義務教育9年間で育ってほしいこども像について （保護者区分ごと：回答者ベース）

#### 【未就学児保護者の傾向】

- 多くの保護者が「思いやりの心」や「礼儀正しさ」など人間性の土台となる「徳」の部分を重視する傾向が見られる。

#### 【在籍児童保護者の傾向】

- こどもが学校というより大きな社会に入り、保護者の関心がさらに「主体性」や「問題解決能力」といった「知」の側面へ移っている傾向が見られる。加えて、自分と違う意見、文化を受け入れる「多様性」といった「徳」の側面も重視する傾向が見られる。

#### 【在籍生徒保護者の傾向】

- 小学校で培われた「人間性」、「自己表現力」や「問題解決能力」に加え、高校進学や将来の自己実現のために必要な「確かな学力」を重視している傾向が見られる。

#### 【全体的な傾向】

- すべての保護者区分で
  - 「【徳】思いやりのある子」
  - 「【知】自分で新しい道を切り拓くことのできる子（困難に直面しても諦めず、解決策を見つけられる）」
  - 「【知】自分の意見や考えをはっきりと示すことができる子」
 が上位に入っており、これらはこどもの成長段階に関わらず、保護者の多くが共通して強く願うこども像であることがうかがえる。
- 人間性の土台となる「思いやり」と、社会で主体的に生きるための「自己表現力、問題解決能力」の両方が重視されている。
- 同時に、こどもの発達段階に応じて求める能力に特徴的な変化が見られる。
  - 未就学児保護者では「基礎体力、危機管理能力」
  - 在籍児童保護者では「論理的思考力、情報処理能力」
  - 在籍生徒保護者では「自己管理能力」
 と、より具体的で、その時々発達段階に応じた能力の育成を期待していることがうかがえる。



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.1 義務教育9年間で育ってほしいこども像について

「その他」の自由記載内容について【知】・【徳】・【体】

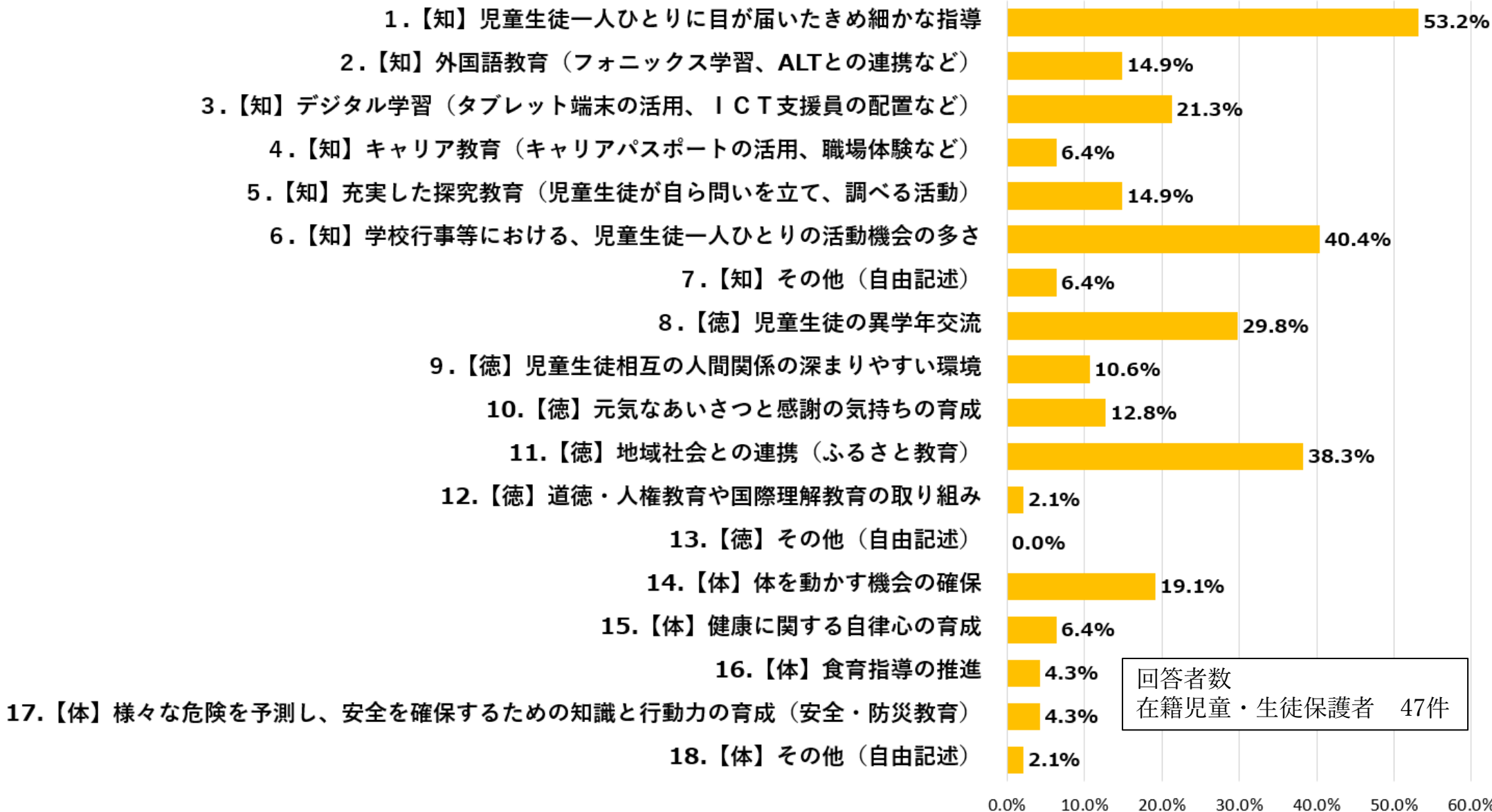
※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

・ 自由記述なし



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.2 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について（全体・回答者ベース）





## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.2 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について（全体・回答者ベース）

現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点（3つまで選択可）

#### 【回答件数上位】

1. 「1. 【知】 児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導」：53. 2%
2. 「6. 【知】 学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活躍機会の多さ」：40. 4%
3. 「11. 【徳】 地域社会との連携（ふるさと教育）」：38. 3%

#### 【調査結果から読み取れる傾向】

- 保護者の多くは、こどもに人間性の土台となる「思いやり（徳）」と社会性を生きぬくための「主体性（知）」を育んでほしいと願っている傾向が見られる。
- これに対し、「きめ細かな指導（知）」や「学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活躍機会の多さ（知）」が評価されている。
- これは、少人数教育のメリットをいかした個別指導体制が、学校の強みとして評価されていることや、学校行事等でのこどもたち一人ひとりの活躍機会の多さが社会性の基礎となる自己有用感を育む取り組みとしても同様に評価されていることがうかがえる。
- また、地域と連携した教育活動（ふるさと教育）を通じた地域住民との触れ合いや地域文化等を知る機会の多さが、「思いやり」や「ふるさとを愛する心(郷土愛)」を育むことに繋がっており、その取り組みを評価しているものと考えられる。

回答者数

在籍児童保護者 32件

在籍生徒保護者 15件



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.2 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導

2.【知】外国語教育（フォニックス学習、ALTとの連携など）

3.【知】デジタル学習（タブレット端末の活用、ICT支援員の配置など）

4.【知】キャリア教育（キャリアパスポートの活用、職場体験など）

5.【知】充実した探究教育（児童生徒が自ら問いを立て、調べる活動）

6.【知】学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活動機会の多さ

7.【知】その他（自由記述）

8.【徳】児童生徒の異学年交流

9.【徳】児童生徒相互の人間関係の深まりやすい環境

10.【徳】元気なあいさつと感謝の気持ちの育成

11.【徳】地域社会との連携（ふるさと教育）

12.【徳】道徳・人権教育や国際理解教育の取り組み

13.【徳】その他（自由記述）

14.【体】体を動かす機会の確保

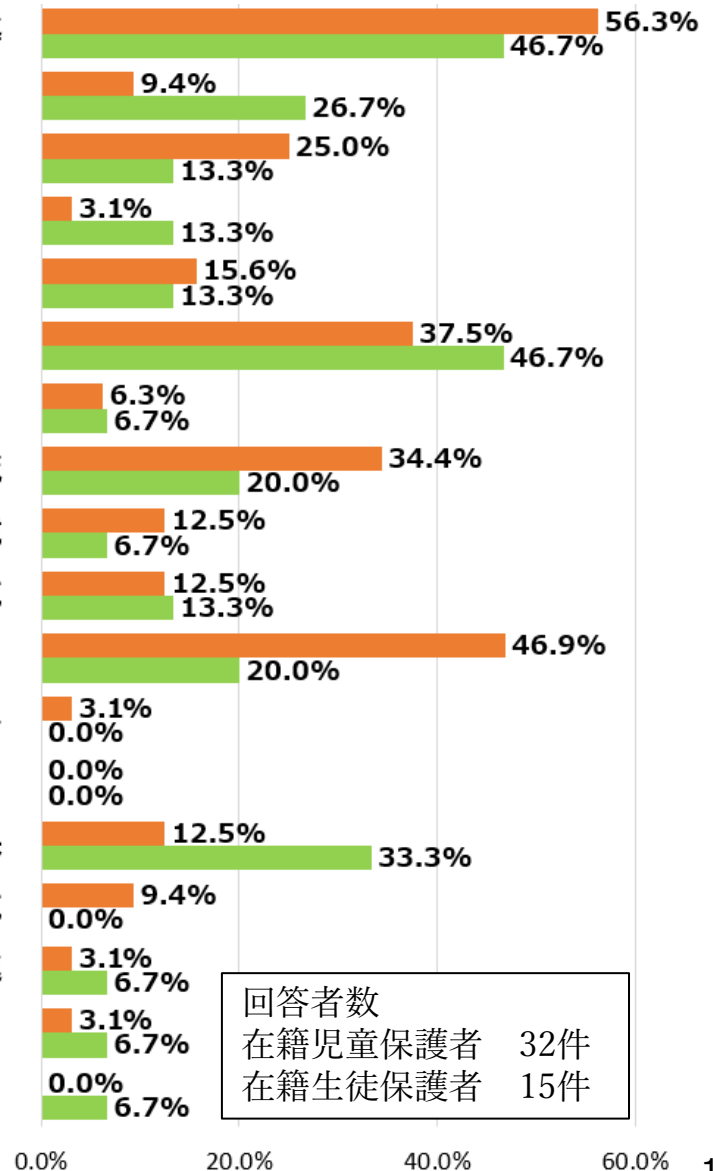
15.【体】健康に関する自律心の育成

16.【体】食育指導の推進

17.【体】様々な危険を予測し、安全を確保するための知識と行動力の育成（安全・防災教育）

18.【体】その他（自由記述）

■ 在籍児童保護者 ■ 在籍生徒保護者





## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.2 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

|    | 在籍児童保護者（32件）                                | 在籍生徒保護者（15件）                                                                   |
|----|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1位 | 1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導<br>(56.3%)      | 1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導<br><br>6.【知】学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活動機会の多さ<br>(46.7%) |
| 2位 | 11.【徳】地域社会との連携（ふるさと教育）<br>(46.9%)           | 14.【体】体を動かす機会の確保<br>(33.3%)                                                    |
| 3位 | 6.【知】学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活動機会の多さ<br>(37.5%) | 2.【知】外国語教育（フォニックス学習、ALTとの連携など）<br>(26.7%)                                      |



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.2 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

#### 【在籍児童保護者の傾向】

- 在籍児童保護者の多くは、育ってほしいこども像として「主体性や問題解決能力を備えた人物像」を挙げており、その具体的な要素として「自分で新しい道を切り拓く力（知）」、「自分の意見をはっきり示す力（知）」や「思いやり（徳）」を重視している傾向が見られる。
- これに対し、「きめ細かな指導（知）」や「一人ひとりの活躍の活躍機会の多さ（知）」が評価されている。
- これは、少人数教育のメリットをいかした個別指導体制が、学校の強みとして評価されていることや、学校行事等でのこどもたち一人ひとりの活躍機会の多さが、社会性の基礎となる自己有用感を育む取り組みとしても同様に評価されていることがうかがえる。
- また、学校だけでなく、地域と連携した教育活動（ふるさと教育）をととした地域住民との触れ合いや地域文化等を知る機会の多さが、「思いやり」や「ふるさとを愛する心（郷土愛）」を育むことに繋がっており、その取り組みを評価しているものと考えられる。

#### 【在籍生徒保護者の傾向】

- 在籍生徒保護者の多くは、育ってほしいこども像として「知性や人間性を備えた人物像」を挙げており、その具体的な要素として「基礎学力（知）」、「自分で新しい道を切り拓く力（知）」や「思いやり（徳）」といった、より知性や人間性を重視する傾向が見られる。
- これに対し、在籍児童保護者と同様に、「きめ細かな指導（知）」や「一人ひとりの活躍機会の多さ（知）」が評価されている。
- これは、少人数教育のメリットをいかした個別指導体制が、学校の強みとして評価されていることや、学校行事等でのこどもたち一人ひとりの活躍機会の多さが、社会性の基礎となる自己有用感を育む取り組みとしても同様に評価されていることがうかがえる。
- また、「外国語学習」、「体を動かす機会の確保」も評価されている。
- これは、学習内容が高度化する中できめ細かな指導がされていること、少人数であるものの創意工夫による運動機会を確保する取り組みが評価されているものと考えられる。



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.2 現在の学校の取り組みで「良い影響を与えている」と感じる点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

#### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

#### 【知】

- ・5と回答しましたが、そうであって欲しいと願いますが、実際は、自ら問いを立てて調べる、は充分できているでしょうか？時代の変化が早すぎて、予測不可能な社会の中で、自ら問いを立てて調べることができるためには、一つの探究について、もっと時間が必要だと思います。そして、先生がやりなさいと言ったからではなく、もっともっと、自分で考え、それを自由に表現できる場を作って欲しいです。
- ・分からない。
- ・適応教室で、5教科以外の教科も教えて欲しい。

#### 【徳】

- ・特になし

#### 【体】

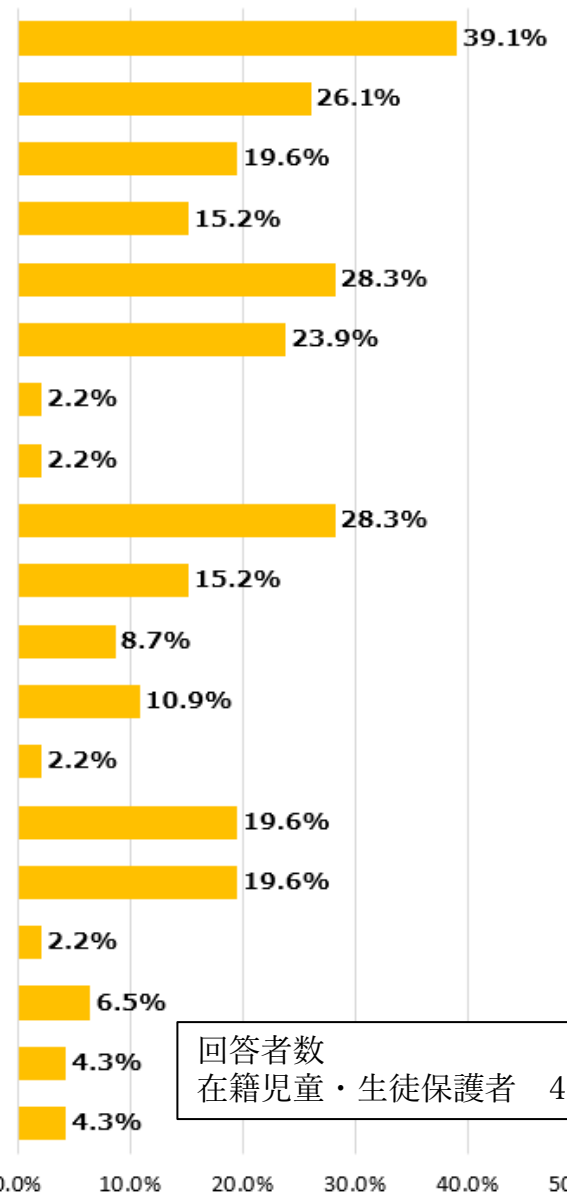
- ・不登校で給食を食べる事が出来ないのが辛い。



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（全体・回答者ベース）

- 1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導
- 2.【知】外国語教育（フォニックス学習、ALTとの連携など）
- 3.【知】デジタル学習（タブレット端末の活用、ICT支援員の配置など）
- 4.【知】キャリア教育（キャリアパスポートの活用、職場体験など）
- 5.【知】探究教育（児童生徒が自ら問いを立て、調べる活動）
- 6.【知】学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活動機会の多さ
- 7.【知】その他（自由記述）
- 8.【徳】児童生徒の異学年交流
- 9.【徳】児童生徒相互の人間関係の深まりやすい環境
- 10.【徳】元気なあいさつと感謝の気持ちの育成
- 11.【徳】地域社会との連携（ふるさと教育）
- 12.【徳】道徳・人権教育や国際理解教育の取り組み
- 13.【徳】その他（自由記述）
- 14.【体】体を動かす機会の確保
- 15.【体】健康に関する自律心の育成
- 16.【体】食育指導の推進
- 17.【体】様々な危険を予測し、安全を確保するための知識と行動力の育成（安全・防災教育）
- 18.【体】その他（自由記述）
- 19.特になし



回答者数  
在籍児童・生徒保護者 46件



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（全体・回答者ベース）

#### 今後さらに学校に充実してもらいたい点（3つまで選択可）

##### 【回答件数上位】

1. 「1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導」：39.1%
2. 「6.【知】探究教育」  
「9.【徳】児童生徒相互の人間関係の深まりやすい環境」：28.3%
3. 「2.【知】外国語教育」：26.1%

##### 【調査結果から読み取れる傾向】

- 保護者の多くは、こどもに人間性の土台となる「思いやり（徳）」と社会を生きぬくための「問題解決能力（知）」「主体性（知）」を育ててほしいと願っている傾向が見られる。
- こちらの回答では、「育ててほしいこども像」と同様に「知」と「徳」の側面を重視する傾向が見られ、現在の学校の良い点である少人数教育のメリットをいかした個別指導体制の継続、充実を望んでいると考えられる。
- 学校には個々の能力を伸ばす「きめ細かな指導」のもと、「外国語教育」といった、将来社会で自己を表現し活躍するための「実践的なスキル」や「探究教育」を通じて、課題解決能力や主体性の「土台」を築いてほしいという期待がうかがえる。

回答者数  
 在籍児童保護者 32件  
 在籍生徒保護者 14件



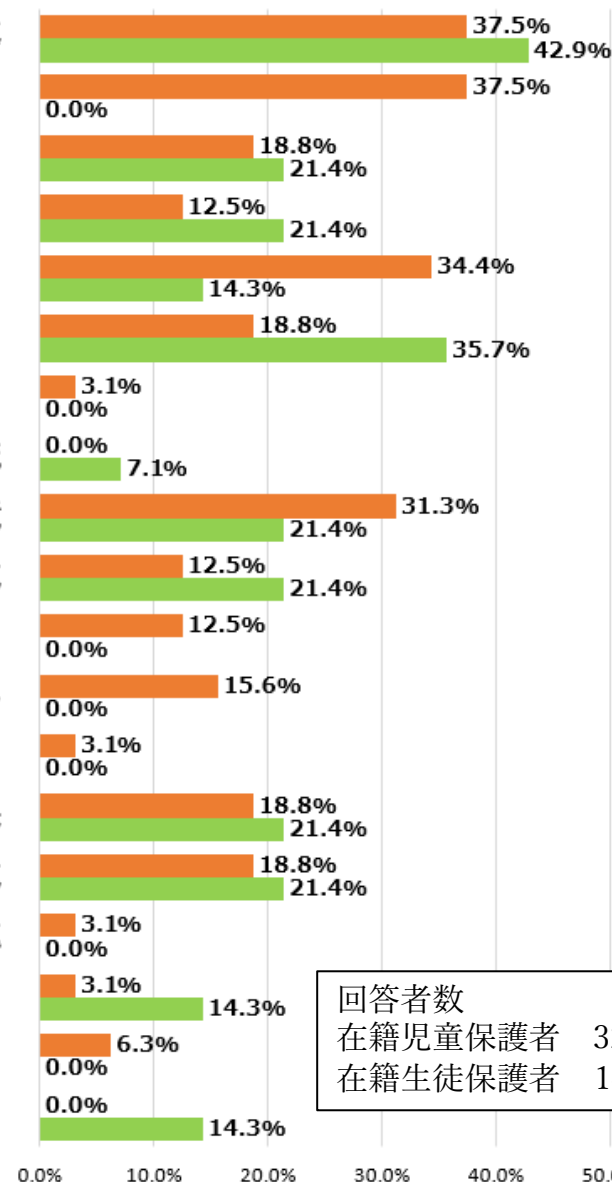
## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

- 1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導
- 2.【知】外国語教育（フォニックス学習、ALTとの連携など）
- 3.【知】デジタル学習（タブレット端末の活用、ICT支援員の配置など）
- 4.【知】キャリア教育（キャリアパスポートの活用、職場体験など）
- 5.【知】探究教育（児童生徒が自ら問いを立て、調べる活動）
- 6.【知】学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活動機会の多さ
- 7.【知】その他（自由記述）
- 8.【徳】児童生徒の異学年交流
- 9.【徳】児童生徒相互の人間関係の深まりやすい環境
- 10.【徳】元気なあいさつと感謝の気持ちの育成
- 11.【徳】地域社会との連携（ふるさと教育）
- 12.【徳】道徳・人権教育や国際理解教育の取り組み
- 13.【徳】その他（自由記述）
- 14.【体】体を動かす機会の確保
- 15.【体】健康に関する自律心の育成
- 16.【体】食育指導の推進
- 17.【体】様々な危険を予測し、安全を確保するための知識と行動力の育成（安全・防災教育）
- 18.【体】その他（自由記述）

19.特になし

■ 在籍児童保護者 ■ 在籍生徒保護者



回答者数  
在籍児童保護者 32件  
在籍生徒保護者 14件



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

|    | 在籍児童保護者（32件）                                         | 在籍生徒保護者（14件）                                                                                                                                                                         |
|----|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1位 | 1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導<br>2.【知】外国語教育<br>（37.5％） | 1.【知】児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導<br>（42.9％）                                                                                                                                               |
| 2位 | 6.【知】探究教育（児童生徒が自ら問いを立て、調べる活動）<br>（34.4％）             | 6.【知】学校行事等における、児童生徒一人ひとりの活動機会の多さ<br>（35.7％）                                                                                                                                          |
| 3位 | 3.【徳】児童生徒相互の人間関係が深まりやすい環境<br>（31.3％）                 | 3.【知】デジタル学習（タブレット端末の活用、ICT支援員の配置など）<br>4.【知】キャリア教育（キャリアパスポートの活用、職場体験など）<br>9.【徳】児童生徒相互の人間関係の深まりやすい環境<br>10.【徳】元気なあいさつと感謝の気持ちの育成<br>14.【体】体を動かす機会の確保<br>15.【体】健康に関する自律心の育成<br>（21.4％） |



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

#### 【在籍児童保護者の傾向】

- 在籍児童保護者の多くは、育ってほしいこども像として「主体性や問題解決能力を備えた人物像」を挙げており、その具体的な要素として「自分で新しい道を切り拓く力（知）」、「自分の意見をはっきり示す力（知）」や「思いやり（徳）」を重視している傾向が見られる。
- これに対し、「探究教育」の充実が入っており、「探究教育」を通じて、課題解決能力や主体性の「土台」を築いてほしいという期待がうかがえる。
- また、「児童生徒相互の人間関係が深まりやすい環境」が入っていることから、友達との関わりの中で思いやりや協調性を育む教育環境への関心が高いことがうかがえる。

#### 【在籍生徒保護者の傾向】

- 在籍生徒保護者の多くは、育ってほしいこども像として「知性や人間性を備えた人物像」を挙げており、その具体的な要素として「基礎学力（知）」、「自分で新しい道を切り拓く力（知）」や「思いやり（徳）」といった、より知性や人間性を重視する傾向が見られる。
- この期待は、「今後充実してもらいたい点」として「デジタル学習」や「キャリア教育」といった、将来社会で自己を表現し活躍するための「実践的なスキル」を求める声に繋がっているものと考えられる。高校進学やその先を見据え、より専門的で具体的な学びを重視する傾向が見られる。

#### 【保護者区分どちらにも共通する傾向】

- 共通して、「児童生徒一人ひとりに目が行き届いたきめ細かな指導」が上位に入っている。
- これは、少人数教育の環境を生かし、学力だけでなく、個々の能力や個性を最大限に伸ばしてほしいと願っていることがうかがえる。
- また、「育ってほしいこども像」で、どの保護者区分でも上位に入っている「思いやりのある子」という願いは、在籍生徒保護者の多くが充実を求める「元気なあいさつと感謝の気持ちの育成」と関連しており、学力だけでなく人間性の育成も学校の重要な役割として期待されていることがうかがえる。



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

#### 「その他」の自由記載内容について【知】

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・探究教育は、問2で書いた通りです。
- ・ロケットや農業など、この地域の特色のある産業に関わる企業や生産者とのコミュニケーションから気付きや学びを得る機会



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

#### 「その他」の自由記載内容について【徳】

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・ 他人と比べる評価法ではなく、過去の自分と今の自分と比べて、自分で目標を設定し、課題解決に取り組めるような関わりをして欲しいです。  
例えば、持久走は順番でなく、目標タイムを決め、それが越えられたかどうかとか、縄跳びも、一律に○回跳んだから○賞ではなくて、自分でそれも決めていいと思います。



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.3 現在の良い点に加え、今後さらに学校に充実してもらいたい点について（保護者区分ごと・回答者ベース）

#### 「その他」の自由記載内容について【体】

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

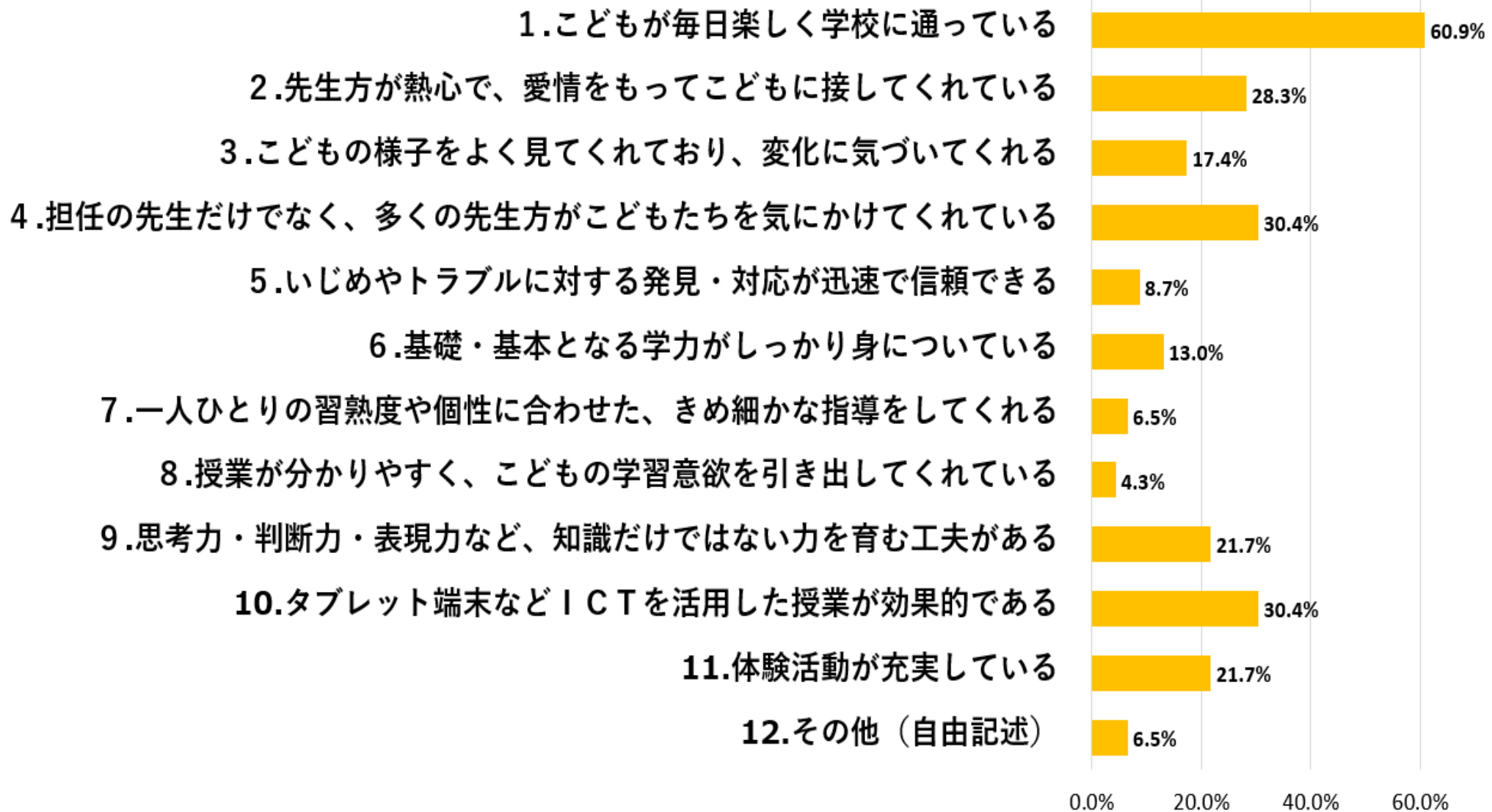
- ・オーガニック給食の導入。そして、子どもたちが、作物を作ることについて、もっと関心をもてるような関わりが必要。何かを育てるにしても、生育方法や、育てるものなど、子どもたちで選んで、調べて、できるようにして欲しい
- ・障害のある子への対応の強化



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.4 現在の学校生活における良い点や、満足している点について （全体・回答者ベース）

回答者数  
在籍児童・生徒保護者 46件





## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.4 現在の学校生活における良い点や、満足している点について （全体・回答者ベース）

現在の学校生活について、良い点や満足している点（3つまで選択可）

#### 【回答件数上位】

1. 「1.こどもが毎日楽しく学校に通っている」：60.9%
2. 「4.担任の先生だけでなく、多くの先生方がこどもたちを気にかけてくれている」  
「10.タブレット端末などICTを活用した授業が効果的である」：30.4%
3. 「2.先生方が熱心で、愛情をもってこどもに接してくれている」：28.3%

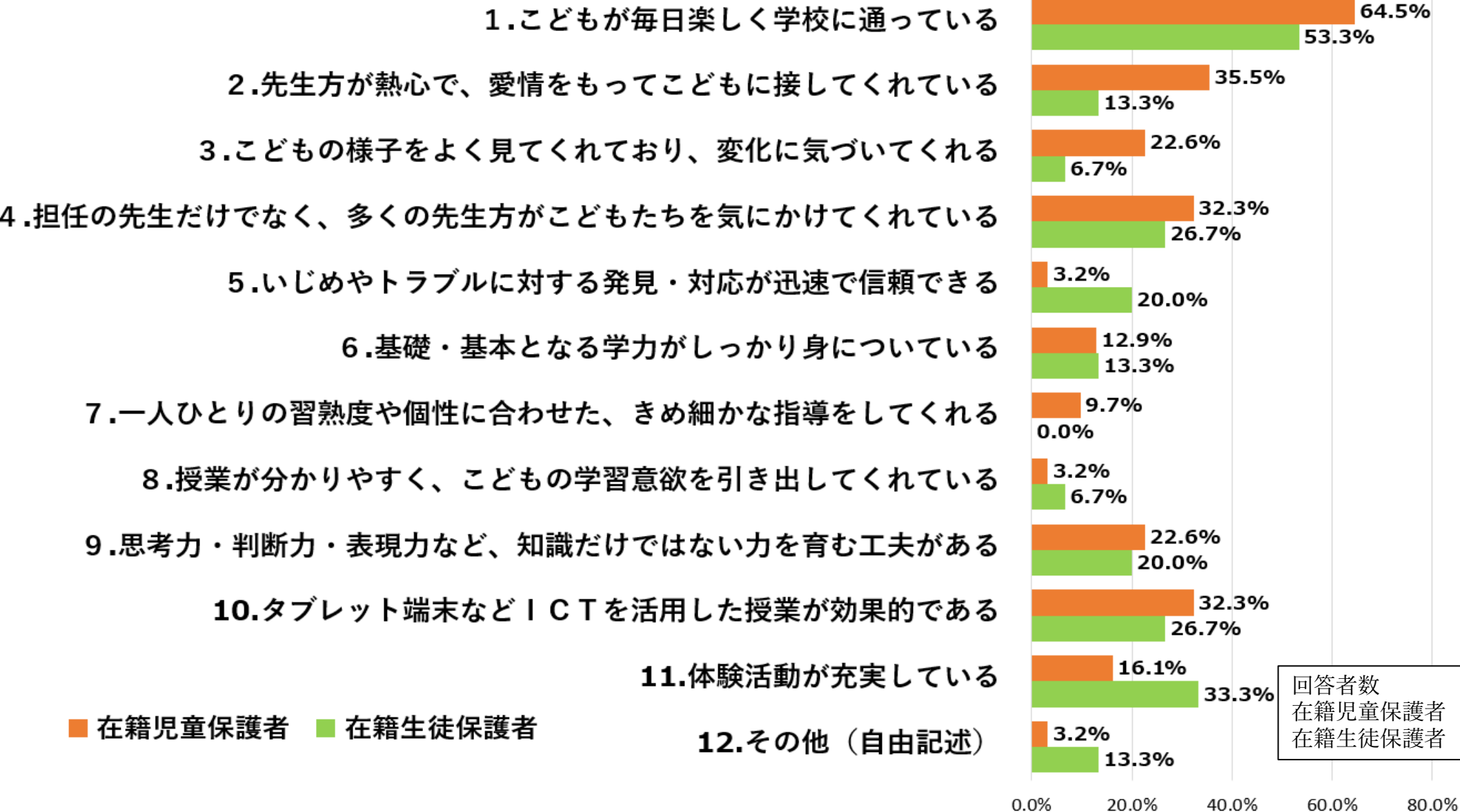
#### 【調査結果から読み取れる傾向】

- 保護者の多くが学校生活で良い点や満足している点として挙げた上位3項目は、いずれも「こどもの情緒的な満足感」や「教職員との人間関係」に関する項目に集中している。
- このことから保護者の多くは、学校がこどもにとって「安心して楽しく過ごせる居場所」であり、先生方が温かく見守ってくれていると感じていることがうかがえる。
- また、「ICTを活用した授業」も上位に入っており、より具体的・専門的な学習内容への関心が高まっていることがうかがえる。



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.4 現在の学校生活における良い点や、満足している点について （保護者区分ごと・回答者ベース）





## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.4 現在の学校生活における良い点や、満足している点について （保護者区分ごと・回答者ベース）

|    | 在籍児童保護者（31件）                                                                     | 在籍生徒保護者（15件）                                                                 |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1位 | 1.こどもが毎日楽しく学校に通っている<br>（64.5%）                                                   | 1.こどもが毎日楽しく学校に通っている<br>（53.3%）                                               |
| 2位 | 2.先生方が熱心で、愛情をもってこどもに接してくれている<br>（35.5%）                                          | 11.体験活動が充実している<br>（33.3%）                                                    |
| 3位 | 4.担任の先生だけでなく、多くの先生方がこどもたちを気にかけてくれている<br>10.タブレット端末などICTを活用した授業が効果的である<br>（32.3%） | 4.担任の先生だけでなく、多くの先生方がこどもたちを気にかけてくれている<br>10.タブレット端末などICTを活用した授業が効果的である（26.7%） |

#### 【在籍児童保護者の傾向】

- 「楽しく通っている」や「先生が熱心・愛情をもって接してくれる」が上位に挙げられており、学校がこどもにとって情緒的に安心できる場所であることが評価されていることがうかがえる。

#### 【在籍生徒保護者の傾向】

- 「楽しく通っている」や「多くの先生が気にかけてくれる」といった項目が上位にあることから、思春期の子どもの細やかな変化を学校全体で多角的に見守る姿勢に満足感を得ているものと考えられる。
- また、児童保護者と異なり「体験学習が充実している」が上位に入っており、実体験を通して主体性や協調性、課題解決力を育む学びへの関心が高まっていることが特徴である。

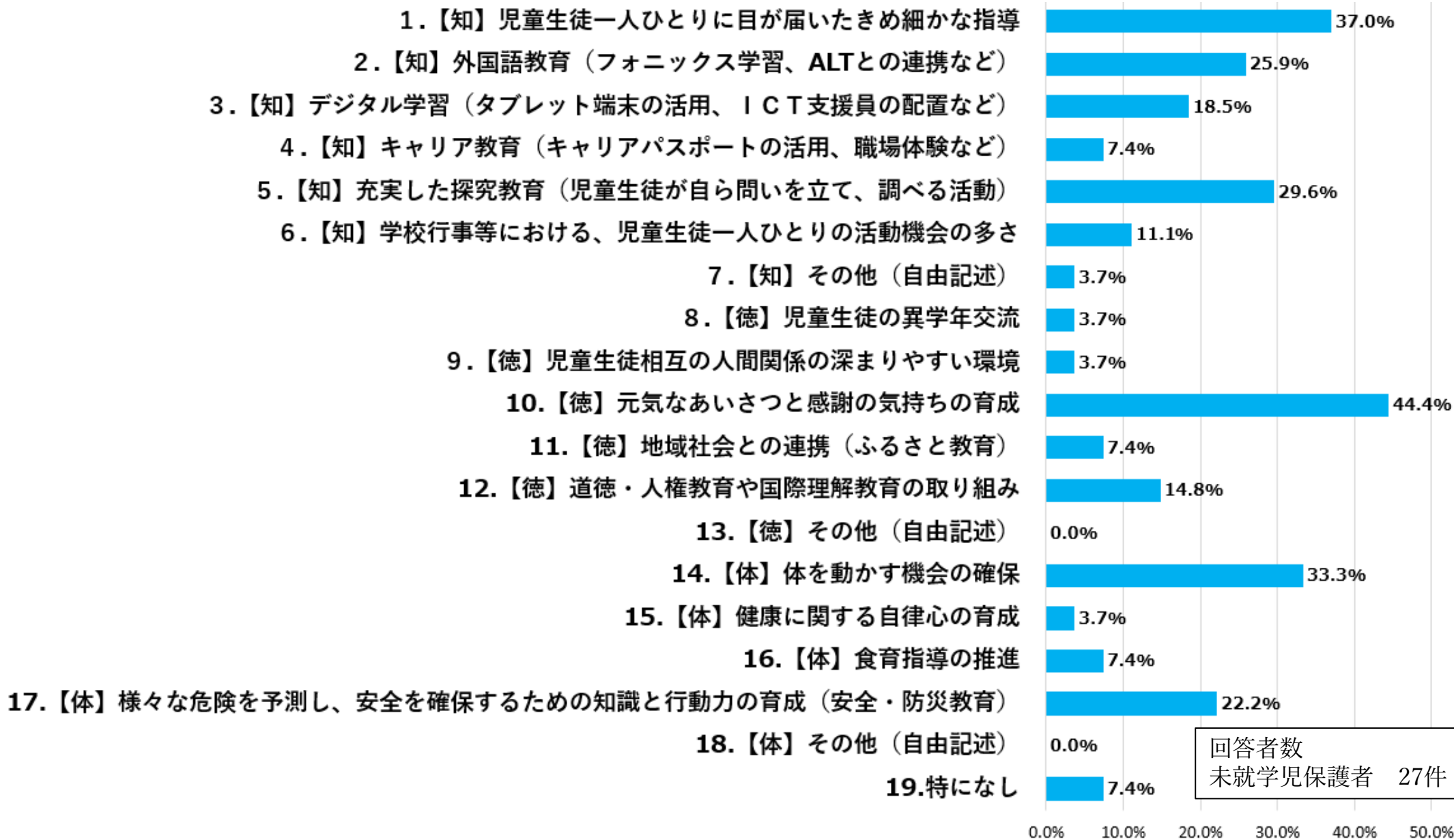
#### 【全体的な傾向】

- 保護者区分を問わず、「こどもが楽しく通えること」や「多くの先生による見守り」などといった、学校の温かい雰囲気や安心できる居場所としての機能が評価されている。
- 教員一人ひとりの熱心さやこどもへの丁寧な関わりが、保護者の満足感に寄与しているものと考えられる。
- 「ICTを活用した授業」も上位に入っており、より具体的・専門的な学習内容への関心が高まっていることがうかがえる。



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.5 学校に期待したい点について（未就学児保護者：回答者ベース）





## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.5 学校に期待したい点について（未就学児保護者：回答者ベース）

#### 学校に期待したい点（3つまで選択可）

##### 【回答件数上位】

1. 「10. 【徳】 元気なあいさつと感謝の気持ち の育成」：44.4%
2. 「1. 【知】 児童生徒一人ひとりに目が届いたきめ細かな指導」：37.0%
3. 「14. 【体】 体を動かす機会の確保」：33.3%

##### 【調査結果から読み取れる傾向】

- 未就学児の保護者の多くは、こどもがこれから小学校という集団生活を始めるにあたり、「知・徳・体」のバランスの取れた土台作りを学校に期待していることがうかがえる。
- 人としての根幹をなす「徳」を最重要視しつつ、こども一人ひとりが安心して学べる個別最適な環境（きめ細かな指導）を求めると同時に、健やかな「身体」を育むための機会の確保を求めていることがうかがえる。

回答者数  
未就学児保護者 27件



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.5 学校に期待したい点について

#### 「その他」の自由記載内容について【知】

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・ 自由記述なし



## 2 調査結果（目指すこども像など）

### 2.6 保護者意識調査（目指すこども像など）の総括について

- 保護者は共通して、こどもの人間的成長の土台（思いやり等）と、社会を生きぬく力（主体性・問題解決力等）の両方を学校教育に期待している。
- その上で、こどもの成長に伴い、求める教育内容は「土台作り（未就学児）」→「主体的な学びの導入（小学校）」→「将来を見据えた専門的な学び（中学校）」と、より具体的・発展的に変化していく傾向がうかがえる。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

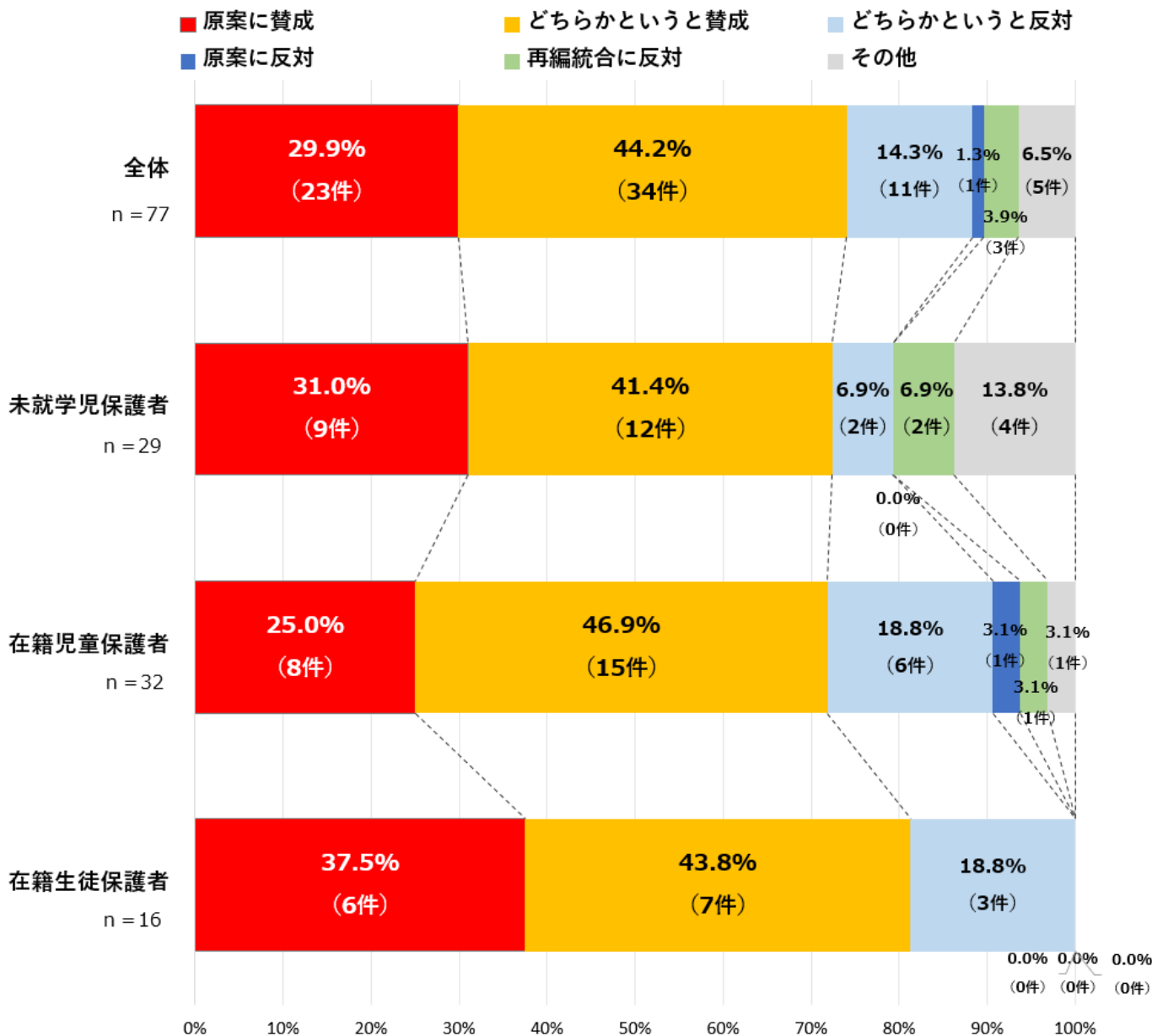
##### 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針に対する考えについて

目指すこども像などを勘案して「大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針」への賛否を回答いただいたところ、「原案に賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した割合が、全体では**74.1%（57件）**となっている。

未就学児保護者においては、**原案に賛成**「どちらかといえば賛成」との回答が**72.4%（21件）**あるが、「どちらかといえば反対」との回答も一定数存在する。

在籍児童保護者においては、「**原案に賛成**」「どちらかといえば賛成」との回答が**71.9%（23件）**あるが、「原案に反対」「どちらかといえば反対」「再編統合に反対」との回答も一定数存在する。

在籍生徒保護者においては、「**原案に賛成**」「どちらかといえば賛成」との回答が**81.3%（13件）**あるが、「どちらかといえば反対」との回答も一定数存在する。



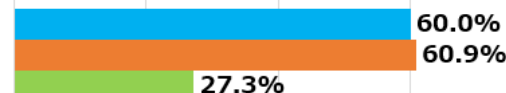


### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

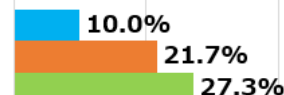
#### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

##### ①-1 原案に賛成・どちらかと言えば賛成とした理由

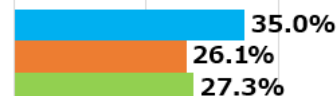
1.義務教育9年間を通した一貫した教育が可能になるから



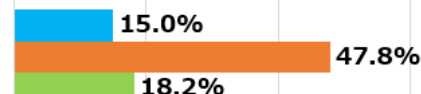
2.効果的な乗り入れ授業が可能になるから



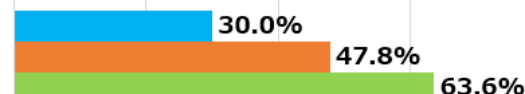
3.効果的な発達段階に応じた柔軟な指導が可能になるから



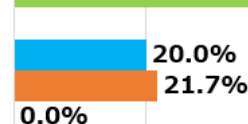
4.異学年交流による社会性の向上が図れるから



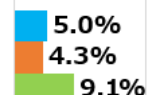
5.小学校から中学校への接続が円滑になるから（中1ギャップの軽減）



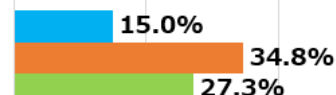
6.外国語やプログラミング、ふるさと教育など特色ある教育を9年間かけて発展・充実させることがより可能になるから



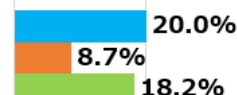
7.学校の教育活動方針などに賛同・協力する児童生徒（保護者含む）の通学区域以外からの就学が可能になるから



8.学校・保護者・地域が協働した学校をつくることで、こどもたちが様々な人と交流する機会が増えるから



9.その他（自由記述）



■ 未就学児保護者 ■ 在籍児童保護者 ■ 在籍生徒保護者

原案に賛成・どちらかと言えば賛成とした理由について（3つまで選択）

原案に賛成・どちらかと言えば賛成とした理由として、

未就学児保護者の回答では、  
「義務教育9年間を通した一貫した教育が可能になるから」との回答が多く見られる。

在籍児童保護者の回答では、  
「義務教育9年間を通した一貫した教育が可能になるから」との回答が多く見られる。

在籍生徒保護者の回答では、  
「小学校から中学校への接続が円滑になるから（中1ギャップの軽減）」との回答が多く見られる。

回答者数

未就学児保護者 20件

在籍児童保護者 23件

在籍生徒保護者 11件

※未就学児保護者  
1件未回答

※在籍生徒保護者  
2件未回答



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

#### ①-2 原案に賛成・どちらかと言えば賛成とした理由

#### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・複式学級が増えるのは望ましくないため
- ・少子化が進んでいる為、統合はやむを得ないと
- ・自分の子供より下の年齢の子達の未来を考えると、今前向きに進めるべきだと思う。小規模のメリットもあると思うが根本的な解決をするには統合が望ましいと考える。
- ・人数の関係上致し方ない
- ・単純に児童数が少ない中で大甕、太田を分ける必要性を感じないから。石神一小、二小も統合案が出ているはず。むしろ統合しないで継続の方が教員配置等様々な面で無駄が多すぎる。



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

#### ①-2 原案に賛成・どちらかと言えば賛成とした理由

#### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

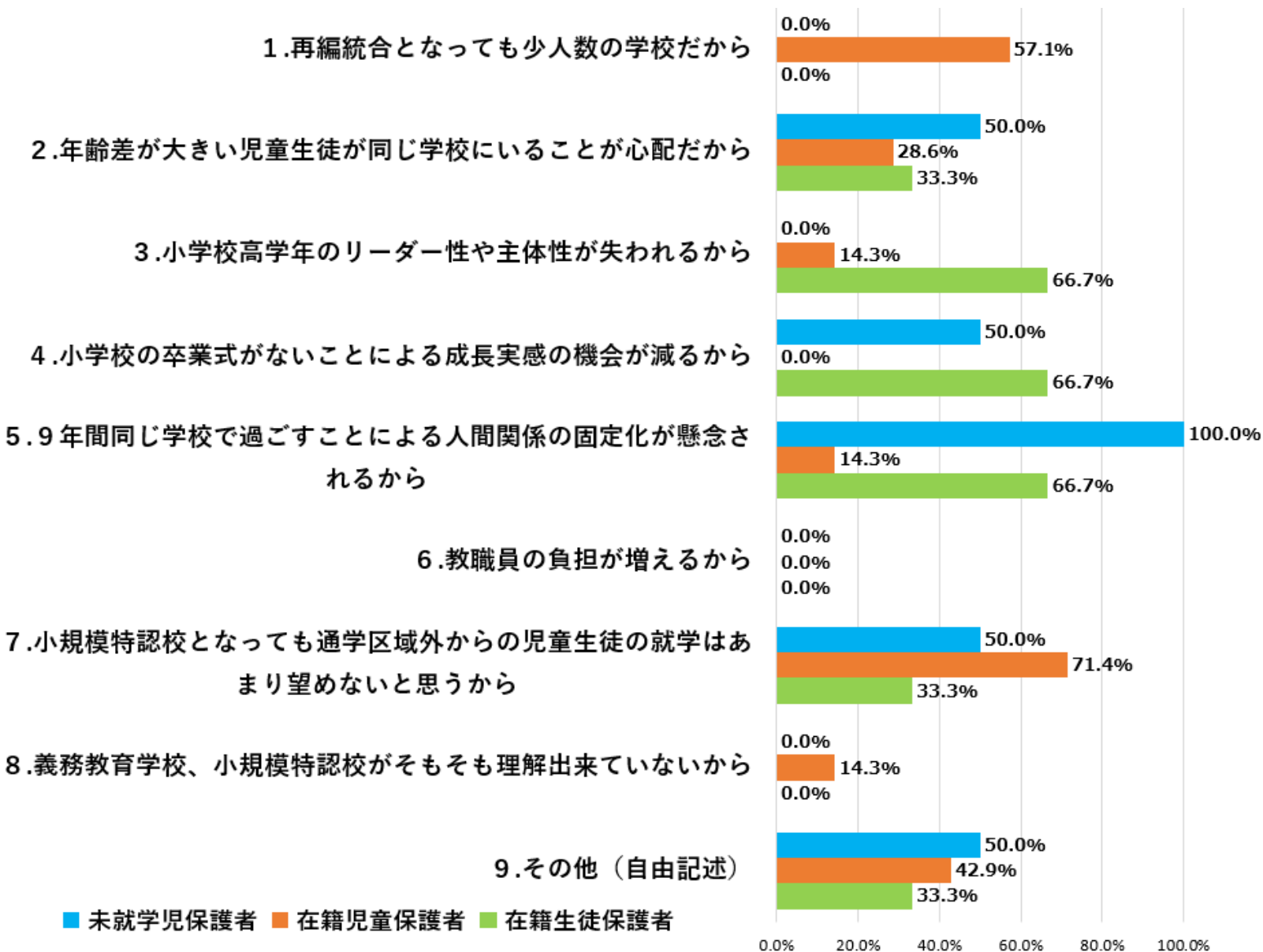
・自由記述なし



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

##### ②-1 原案に反対・どちらかと言えば反対とした理由



##### 原案に反対・どちらかと言えば反対とした理由について（3つまで選択）

原案に反対・どちらかと言えば反対とした理由として、

未就学児保護者では、  
**「9年間同じ学校で過ごすことによる人間関係の固定化が懸念されるから」**との回答が多く見られる。

在籍児童保護者では、  
**「小規模特認校となっても通学区域外からの児童生徒の就学はあまり望めないと思うから」**との回答が多く見られる。

在籍生徒保護者では、  
**「小学校高学年のリーダー性や主体性が失われるから」**ほか**2件**の回答が多く見られる。

回答者数  
 未就学児保護者 2件  
 在籍児童保護者 7件  
 在籍生徒保護者 3件



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

##### ②-2 原案に反対・どちらかと言えば反対とした理由

#### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

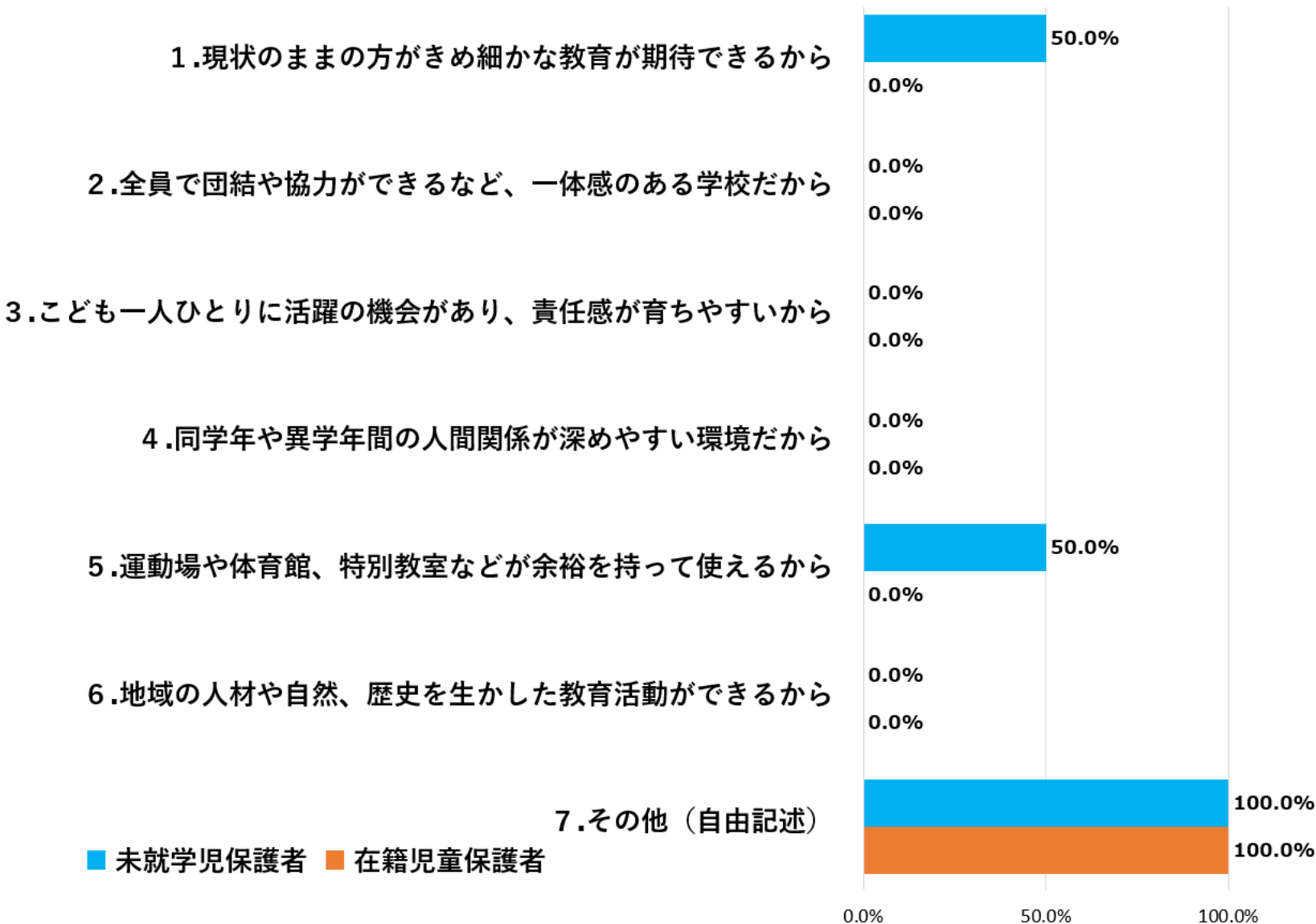
- ・統合した後の教育方針について書かれていたが、聞こえがいいように書いてるだけで、本当に教育は変わるのか？ただ人数合わせのために統合するだけのように入る。
- ・本当に教育を変えたいと思うなら、大熊町の学び舎ゆめの森のような学校にしてほしいあそこも公立の学校だからできるはず。ただ単なる適正化のためだけはやめて欲しい。
- ・地域学習について、学区が広がることで自分の住んでいるところを知るという意識が育つのか心配。保護者の送迎が必須になるなどの負担は避けたい。
- ・再編統合をしても少人数であることは変わらず、今後を考えても、学区的に児童数増加が期待できず、衰退する事も予想されるため。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

##### ③-1 再編統合に反対とした理由



#### 再編統合に反対とした理由について（3つまで選択）

再編統合に反対とした理由として、

未就学児保護者では、「その他」との回答が多く見られる。

在籍児童保護者では、「その他」との回答が多く見られる。

※在籍生徒保護者はなし

回答者数  
 未就学児保護者 2件  
 在籍児童保護者 1件  
 在籍生徒保護者 0件



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

#### ③-2 再編統合に反対とした理由

#### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があつたものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・ 通学距離、通学場所が不便



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.1 大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針について

##### ④ その他とした理由

#### 「その他」を希望する理由について

- ・ 申し訳ありませんが、資料に目を通す、動画を試聴する時間がとれず説明を確認出来ていない為です。
- ・ 過渡期や初年度に我が子を通うと思うと、環境の変化やサポートなど子ども、親、教員に負担がかかると思うので、当事者としては避けたいのが本音です。かといって再編統合しないのも現実的ではないのは理解できます。  
太田地区の我が家は学区内に幼保施設がないため、通勤途中で比較的家に近い園に通っています。友達関係や保護者との関わりを考えると、学区外通学できるといいなと考えているのが正直なところです。  
太田小は家族の母校でもあり、通学するために現住所に家を建てましたが、あまりにも少人数＋途中から場所が変わる＋市内に前例がない制度なのは、教育的視点や人間関係面など、答えのない手探りばかりになりそうで不安です。
- ・ よくわからない。

回答者数

未就学児保護者 4件

在籍児童保護者 1件

在籍生徒保護者 0件

※未就学児保護者2件未回答



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.2 児童生徒の声について

##### 今回の保護者懇談会の内容について感じていること

- ・ 現在小学4年生の子供は、再編した学校に通学してみないとわからないと言っています。
- ・ 懇談会に参加した後、子どもたちに、今後学校がこうなっていくよ、と大体話しました。  
そしたら、僕はこのままが良いと言いました。  
学校が適正化されること、子ども達にはどう説明していくのでしょうか？大人がどれだけ議論を重ねても、学校へ行くのは子どもです、学ぶのは子どもです。子どもを置き去りにしてませんか？  
子ども達が楽しいと思う学校、行きたいと思う学校を、子ども達と一緒に作りたいです。  
でなければ、不登校は増える一方です。
- ・ 義務教育学校になるかもしれない話はしているが、低学年ということもあり本人たちはあまりピンときた感じはない。
- ・ 3人兄弟なので、上の子が中学生になっても、一緒に登校して、学校の敷地内で会う可能性があるという説明をしました。



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.2 児童生徒の声について

#### 今回の保護者懇談会の内容について感じていること

- ・ 長期休暇中の児童クラブで大甕の子と一緒にになりますが、トラブルが多いようで一緒にするのは嫌だと真っ先に言われました。  
最近、太田大甕の交流活動が多いようですが、イメージの払拭に繋がるのかわかりません。
- ・ 一箇所になることは楽しみだが、大甕の児童と仲良くできるか不安ともいっています。
- ・ 義務教育学校になる予定だと話をした。
- ・ 小学校と中学校が合わさり、9年生になる。学校は中学校の校舎を利用する。



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.2 児童生徒の声について

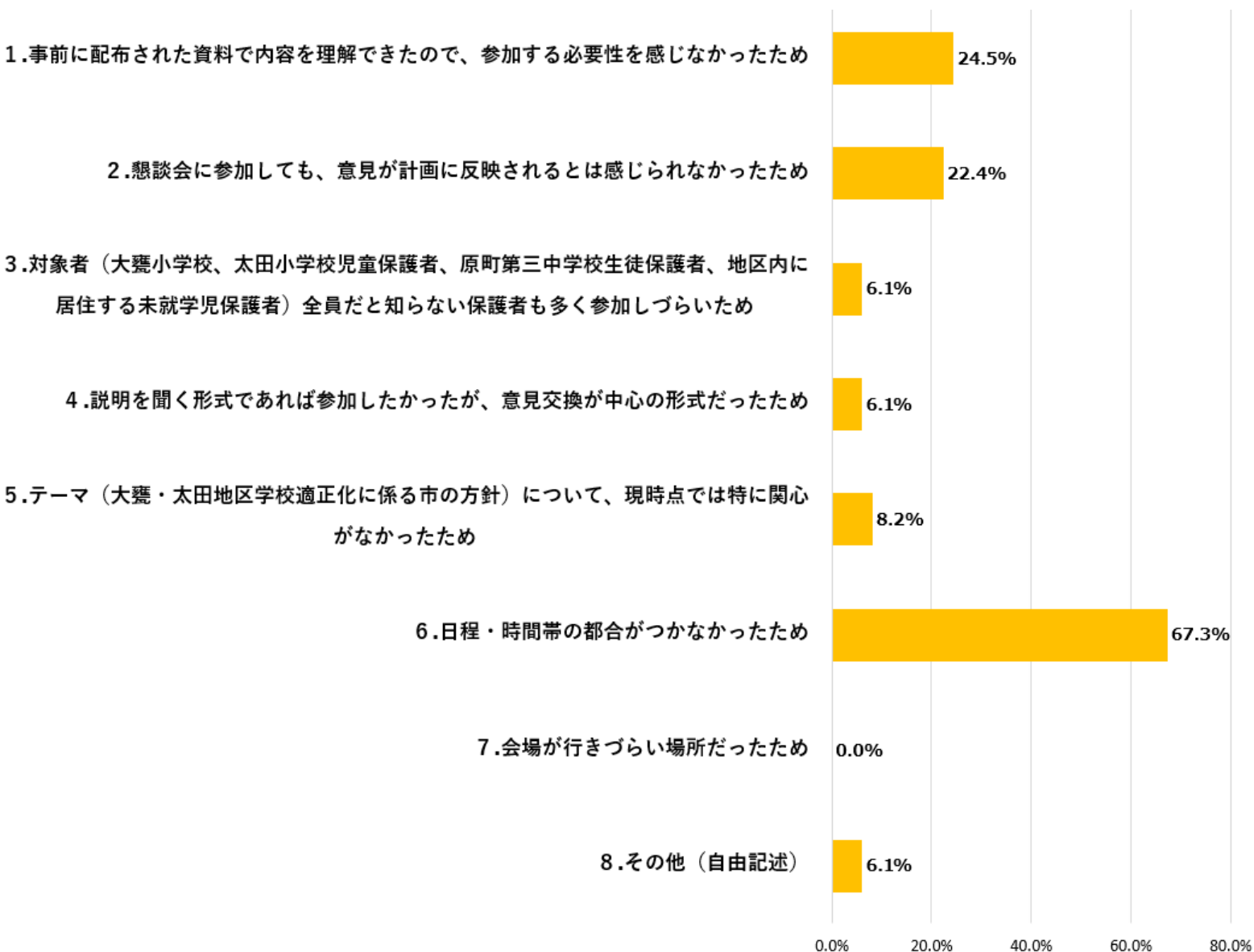
今回の保護者懇談会の内容について感じていること

- ・ 自由記述なし



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.3 保護者懇談会不参加の理由について（全体・回答者ベース）



保護者懇談会不参加の理由  
（3つまで選択可）

#### 【回答件数上位】

- 「6. 日程・時間帯の都合がつかなかったため」  
： 67.3%
- 「1. 事前に配布された資料で内容を理解できたので、参加する必要性を感じなかったため」  
： 24.5%
- 「懇談会に参加しても、意見が計画に反映されるとは感じられなかったため」  
： 22.5%

回答者数  
保護者全体 49件



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.3 保護者懇談会不参加の理由について（全体・回答者ベース）

##### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・ 必要性を感じなかったから



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.4 意見表明しやすい方法について（全体・回答者ベース）

1.対象者（大甕小学校、太田小学校児童保護者、原町第三中学校生徒保護者、地区内に居住する未就学児保護者）全員での懇談会

20.3%

2.学校ごと等の小規模な懇談会（未就学児は未就学児のみ）

35.1%

3.意識調査（アンケート）

56.8%

4.オンラインの意見交換会

9.5%

5.ワークショップ形式の意見交換会

5.4%

6.メールや手紙等の個別の意見提出

28.4%

7.オンライン意見箱の常設

27.0%

8.その他（自由記述）

6.8%

意見表明しやすい方法について  
（複数選択可）

【回答件数上位】

1.「3.意識調査（アンケート）」  
：56.8%

2.「2.学校ごと等の小規模な懇談会  
※未就学児は未就学児のみ」  
：35.1%

3.「6.メールや手紙等の個別の  
意見提出」  
：28.4%

回答者数  
保護者全体 74件

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.4 意見表明しやすい方法について（全体・回答者ベース）

#### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・対象者に子どもも入れてください。
- ・地区毎の懇談会
- ・アンケートやオンラインでは回答率や参加率が低くなるのと、言葉のニュアンス等が伝わらなかったりするので、大事な場面では全員参加をある程度強制するような形にして、なおかつ対面型の方が合意形成を得られやすいのではないかと思います。
- ・南相馬市全体で児童数減が進んでいる中で統合をいつまでも進めない理由がむしろ分からない。通学させる子供のいない地域の人の意見に振り回されているのであれば毎回行うこの議論は必要なのか？



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.5 小中一貫教育の導入となった場合に希望することについて （3つまで選択）

1.通学手段の支援をしてほしい（スクールバスの運行等）

2.各学校の特色や良さを継承してほしい

3.特別支援教育を充実させてほしい

4.児童クラブの受入れ人数を確保してほしい

5.きめ細かな指導体制を維持してほしい

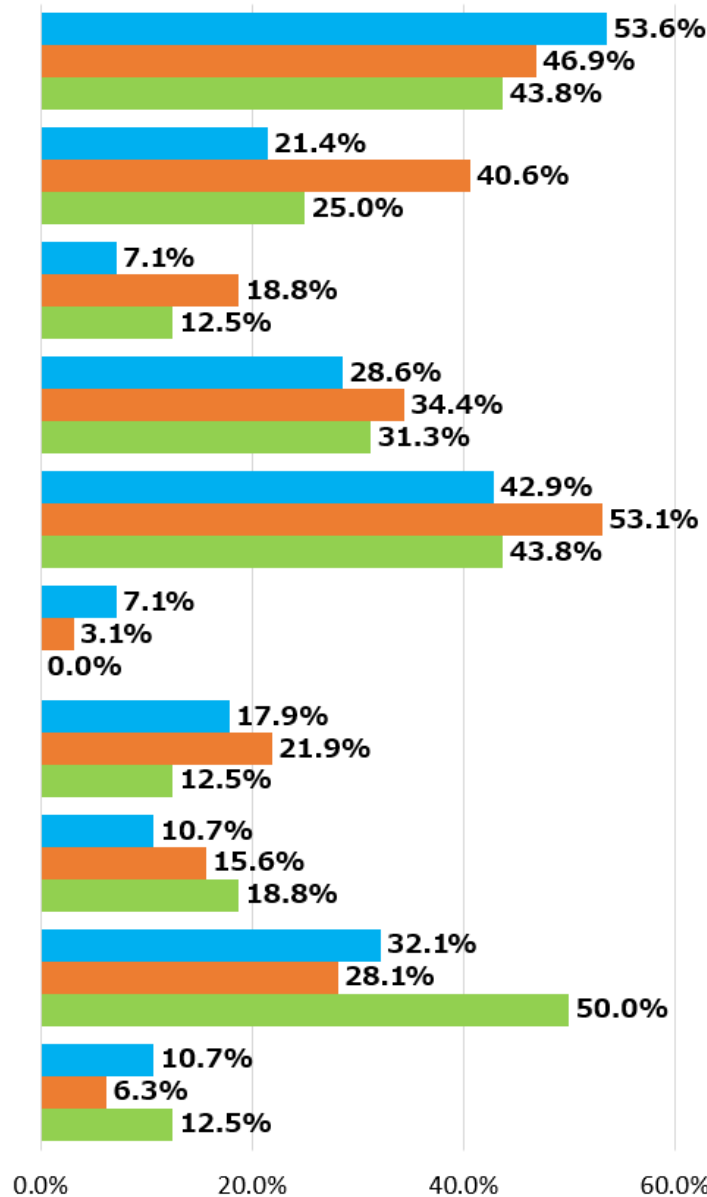
6.学校行事やPTA活動を活性化してほしい

7.地域と学校のつながりを維持してほしい

8.幼稚園と小学校の交流、連携を継続してほしい

9.課外活動（クラブ、部活動など）を充実させてほしい

10.その他（自由記述）



未就学児保護者の回答では、「**通学手段の支援をしてほしい（スクールバスの運行等）**」との回答が多く見られる。

在籍児童保護者の回答では、「**きめ細かな指導体制を維持してほしい**」との回答が多く見られる。

在籍生徒保護者の回答では、「**課外活動（クラブ、部活動など）を充実させてほしい**」との回答が多く見られる。

回答者数

未就学児保護者 28件

在籍児童保護者 32件

在籍生徒保護者 16件

※在籍生徒保護者 1件未回答



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.5 小中一貫教育の導入となった場合に希望することについて （3つまで選択）

##### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・オーガニック給食の導入。学び舎ゆめの森のような教育。  
子ども達が行きたくなるような学校。学校の中に、子ども達の居場所を作る。  
「決まり事を守るのが良いこと」ではなく、疑問に思ったことはなんでも表現できてやりたいことがもっとやれる学校
- ・令和12年度では子供は中学校を卒業している為
- ・いじめ(犯罪)の起こらないような学校作り、教員指導。もしも起こった際に、隠蔽するなどの行動をせず真摯に向き合い保護者へ説明できる体制作り。
- ・生徒数の人数を確保して欲しい。1クラス20人以上。  
統合しても1桁代の児童生徒数になるようであれば存続する意味があるのか分からない。
- ・小中一貫教育を生かした算数数学などに特化したカリキュラム作成  
（論理的思考、問題解決能力などを重視した理系人材の育成）



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.5 小中一貫教育の導入となった場合に希望することについて （3つまで選択）

##### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

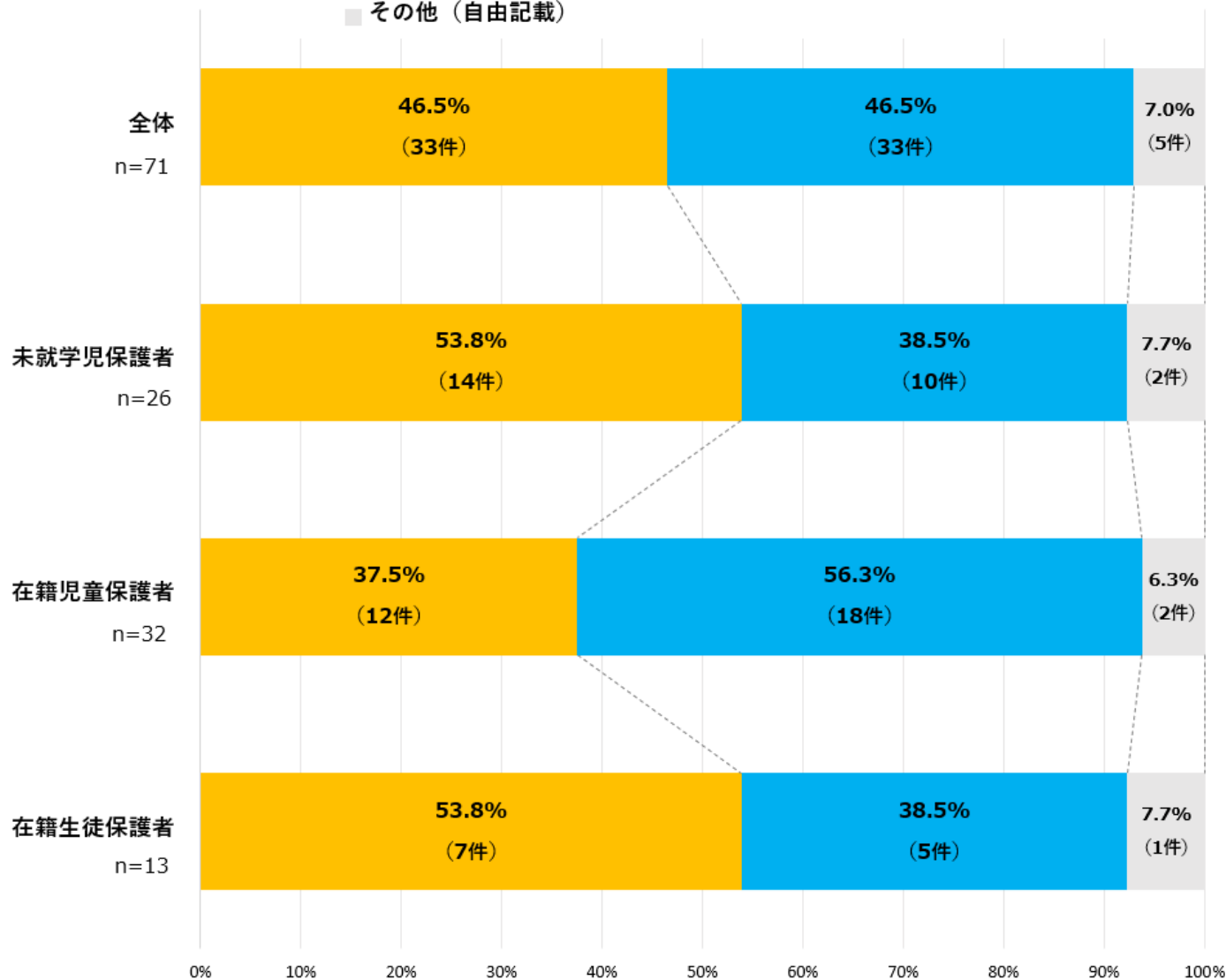
・自由記述なし



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.6 学校適正化の進め方について

- 将来的なことを考えて、早期に学校適正化を目指したほうがいい
- 慎重に学校適正化を目指したほうがいい
- その他（自由記載）



#### 学校適正化の進め方 に対する考えについて

学校適正化の進め方（スピード感）に対する考えについて、「将来的なことを考えて、早期に学校適正化を目指したほうがいい」という回答と「慎重に学校適正化を目指したほうがいい」と回答が同程度となった。



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.6 学校適正化の進め方について

#### 「その他」の自由記載内容について

※自由記載欄に入力があったものについては、「その他」を選択していなかった場合でも記載。

- ・教育方針を今一度考え直して欲しい。1番大事なところはみんなで決めるべき。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.7 大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力について

##### 現在の大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力についての意見等

- ・ 一人一人が、自主的に動いて、行事を成り立たせている。協調性がある児童が多い。
- ・ 幼稚園との交流があるおかげか、就学がスムーズに移行できている。公立でこの様な交流がある事は大変ありがたい。
- ・ 水泳記録会、マラソン大会、縄跳び記録会などの行事の授業参観が出来る。
- ・ 地域とのつながりが強いところが良い点と考えます。
- ・ 地域の繋がりが強く、それが特色になるのかと思うが、小規模特認校制度により他の地域の児童が通学可能になっても、現在の地域の繋がり（地域運動会、地域文化祭等）のままではハードルが高いと思うので、地域の方々の中で特技を持っている方を外部講師として招く等の対応になれば魅力に繋がるのではと思う。
- ・ 地域の方たちとの交流が他校より多く、地域の方たちから子供達と触れ合うことが楽しいという意見もある。



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.7 大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力について

#### 現在の大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力についての意見等

- ・ 野菜作りなど食育など力を入れている所が魅力的だと思う。
- ・ 地域の方が我が子のように接してくれる
- ・ 地域の方が一緒に行ってくれている行事は様々な体験ができていいと思う
- ・ 田植えやイチゴ狩りができる。
- ・ この地域に住み出してまだ年数が浅い為分からないです。
- ・ 高齢化が進んでいる。あまりいい点はまだ見つけられていない。
- ・ イベント、活動だけでない、普段からの地域の見守り意識
- ・ 地区に住んで日が浅いため、地域の特色や魅力については分かりません。  
行政区内での関わりがあまりないため、学校をとおしてこどもだけでなく、保護者も地域に関わる機会が増えればと考えます。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.7 大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力について

現在の大甕・太田地区の教育環境の特色や魅力についての意見等

・自由記述なし



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.8 大甕・太田地区の学校適正化について

##### 大甕・太田地区の学校適正化に関する意見等

- ・ 統合の話が長年出ているのに一向に具体的に動きがない。その間も子どもは成長しているのだから、早急に行政が動いてくれることを願っている。
- ・ 年々職員の手薄が見られるため、細かいところまで目が届いていないと思う。また、ベテラン職員の配置が滞っているように思えるため、市での職員のキャリアアップや人材確保の方が優先ではないか。
- ・ 大甕の児童が多いため、大甕小学校の校舎を利用する方法はないのか？
- ・ 賛成ではあるが、今の少人数での学校が良いと思っているのが正直なところ。再編となったら中3の受験生という時期に、小学校と統合などで新しいことが増えることで、しっかり勉強や受験対策ができるか心配はある。
- ・ 既にもう書いてますが、この適正化の影響を受けるのは子ども達です。子ども達が通う学校のことを、子ども達の意見をしっかり聴いてほしいです。学校に行けない子の居場所の確保をしっかりとやってほしいです。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.8 大甕・太田地区の学校適正化について

##### 大甕・太田地区の学校適正化に関する意見等

- ・児童数が少ない根本的な問題を解消するために、幼稚園・保育園との連携は必須だと思うので実現させてほしい。  
小規模特認校制度を活用し「魅力ある特色」＋「幼・保・小・中一貫校」を実現させ、将来的には地域の方々の理解と協力のもとに商業施設や医療機関を整備することができれば活気ある大甕・太田地区になると思う。
- ・未就学児を持つ方で、三中には入学させたくないという意見を聞きました。理由はわかりませんが、良く思っていない部分を改善できるような学校にできればと思います。  
また、他校にはない面白いと思うことを導入しないと、どんどん児童は減少していくだけです。放課後の活動も含め、教職員以外の外部の方の力を借りて、充実させられるようなことも必要ではないでしょうか？
- ・越してきてまだよく分かっていないため、日頃の授業や学校の雰囲気などを見学できる機会があればと思う。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.8 大甕・太田地区の学校適正化について

##### 大甕・太田地区の学校適正化に関する意見等

- ・再編統合は、子供の将来に大きく影響するのはもちろんのこと、大甕・太田地区の今後の発展にも影響するものだと思います。若い世代が居住(移住)を考えた時に、学校への距離や学校の特色は選定にかかわる大きな要素だと考えます。地区の居住者数や今後の発展見込みは、民間の施設等が新設を決める要因にもなり得ると考えます。児童数が減ったから、少ないところ、近いところと合併して、既存の施設を利用して予算と手間をかけずに凌ぐというのは、安直すぎるのではとも思います。本当に子どもたちの未来を考えるのであれば、教育に関することはもちろんのこと、住みよい場所、将来が明るい地域としての発展させるためには、といった視点も含めて区全体としても考えていかなければ、子どもたちの本当の未来は守れないのではないのでしょうか。
- ・保護者や地域住民等の意見をもっと真摯に受け止め、統合するかどうかを検討した方が良いと思う。
- ・いろいろ手探りの中、準備していただいてありがとうございます。回答が遅れ申し訳ありませんでした。封筒を目立つ色にするか期日を書いていただく、または（大変でしょうが）個別にご連絡いただけたらもう少し回答率も伸びるのではと勝手ながら思いますがいかがでしょうか。我が子のことを思うのはみんな同じと思いますが、日々の生活があるためご配慮いただきたいのと、意見や意識のある方の回答ばかりにならないよう留意していただければ幸いです。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.8 大甕・太田地区の学校適正化について

##### 大甕・太田地区の学校適正化に関する意見等

- ・学校適正化について少子化のため必要だと考えますが、適正規模にするという理由だけでの再編統合では、最終的に中心市街地の学校に集めるということになってしまいます。  
その場合、自分が住んでいる地域を知る機会は減ってしまい、大甕・太田地区、南相馬市に愛着、誇りを持つこどもの育成は難しくなると考えます。  
ある程度地域性を考慮した再編統合案を検討した方がよいと思います。
- ・学校教育について基礎学力はもちろん大事ですが、教育の基本は家庭学習だと考えます。  
学校では、家庭ではできない集団活動や体験活動をおこなう機会の充実を希望します。資料でもあり、サツマイモ、田植えや野馬追などの体験は非常によいと思います。  
相馬農業高校と連携し、イチゴジャムなど栽培、製造、販売などをお手伝いすることでキャリア教育に繋げることはできないでしょうか。また、相馬農業高校には馬術部もあると思いますが、馬に乗る機会を増やすことで、運動機会の増加に繋がればと思います。  
小中一貫教育で希望することにも記載しましたが、今後理系人材の需要がさらに高くなると考えますので、学校教育の特色として算数・数学を丁寧に教えてもらえるというのはいかがでしょうか。



## 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

### 3.8 大甕・太田地区の学校適正化について

#### 大甕・太田地区の学校適正化に関する意見等

- ・部活動については、学校単位で継続することは難しいため地域移行を進めていくという流れかと思いますが、実現には相当な年月がかかると思われます。しかしながら、こどもたちはすぐ成長してしまうため、原三中やその他小規模学校の部活動は試験的に原一中、原二中などと合同で実施し、バス等移動手段の支援を行うなど、少しずつでも取り組んでいただければと思います。



### 3 調査結果（大甕・太田地区学校適正化）

#### 3.8 大甕・太田地区の学校適正化について

##### 大甕・太田地区の学校適正化に関する意見等

- ・ 自由記述なし